

自動運転小型 EV バスの一般向け試乗を実施します

東急バス株式会社

東急バス株式会社(本社:東京都目黒区、取締役社長:古川 卓、以下、「東急バス」)は、2026年6月2日(火)から6月30日(火)の期間、東京都内住宅街のバス路線において、自動運転小型 EV バスを使用した一般向け試乗(以下、「本試乗」)を実施します。

昨今、生活様式の変化や高齢化社会により移動のニーズが多様化するなか、将来にわたって地域の生活を支えるため、東急バスでは2022年から自動運転技術および遠隔監視オペレーションの実証実験を継続的に実施してきました。今回は、これまでの実証実験で得られた知見を基に、路線バスとしての運行体制を確立することを目的に、当社のバス路線において一般のお客さま向けにご試乗いただける機会を設けるものです。

使用する車両は、バス事業者として持続可能なサービスを展開するため、東急バスで開発し、継続運用を可能にした自動運転小型 EV バスです。自動運転機能や遠隔オペレーターによる無人運営に対応した旅客案内システムを備え、これまでも東京都内のバス路線で無人運行の実証実験を行ってきました。

本試乗で運行する路線は、東急田園都市線および東急バスの複数路線が乗り入れている用賀駅(東京都世田谷区)を起点に、住宅街の生活道路を経由し、関東中央病院との間を往復するルートとなります。

本試乗は予約システムから事前予約された方のみご乗車いただけます(【別紙】2.参照)。将来的な無人運行に対応するため、お客さまご自身で事前予約・決済・認証を行っていただくシステムを導入することで、乗務員が行っている業務を自動化し、効率化するための検証を行います。

今後も積極的に新技術の導入を推進し、安全・安心で便利な移動サービスの提供を行ってまいります。

本試乗の詳細については別紙の通りです。



▲使用する自動運転小型 EV バス

関東中央病院行き

Destination: Kanto Central Hospital

 このバス停で、下記の番号**050 260 588 707 957**

の方は、降車になります。

At this bus stop, passengers with the number listed above will get off.

2026/5/1(金) 15:41



▲旅客案内システムのイメージ

【報道機関お問い合わせ先】(参考)この資料は、国土交通記者会、横浜市政記者室、横浜経済記者クラブ、川崎記者クラブに配布しています。

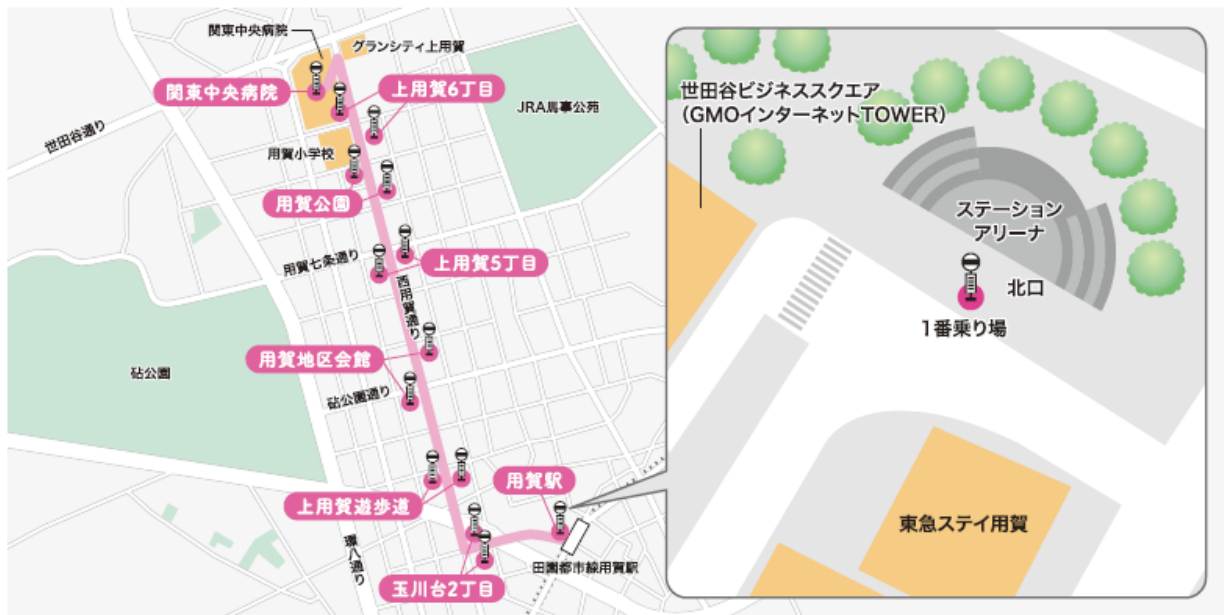
東急バス株式会社 経営統括室 経営企画部 (広報グループ)

E-mail : koho-g@tokyubus.co.jp

【別紙】

1. 概要

実施期間	2026年6月2日(火)～6月30日(火)【火・木曜日のみ運行】
運行時間帯	10時～13時
自動運転レベル	レベル2(運転席の係員が常時周囲監視)
車両	市販車をEV・自動運転化した車両を使用 (東急テクノシステム株式会社および東急バスにて改造)
運行ルート	東京都世田谷区内の以下ルートを走行 用賀駅～関東中央病院～用賀駅(約3.5km) 途中バス停での乗降が可能
遠隔監視	東急バス本社に遠隔コントロールセンターを設置



2. 試乗方法

右記 QR コードより、LINE 公式アカウント「東急バス 自動運転」を友だち追加し、会員登録・事前予約のうえ、バス車内の QR コードリーダーに電子チケットをかざしてご乗車ください。

※会員登録、事前予約、認証システムは、お客さまご自身で操作いただく必要があります。



【参考】

＜東急バス・東急の自動運転に関する取り組み＞

2020年12月に静岡県伊東市の伊豆高原駅付近に複数台の自動運転車両を監視・操縦可能な「遠隔コントロールセンター」を設置し、運行する車両の遠隔監視・操縦技術を検証する実証実験を実施しました。2021年度より、静岡県が実施する自動走行実証事業「しずおか自動運転ShowCASEプロジェクト」を継続して受託、自動運転技術や遠隔コントロールセンターの高度化に加え、案内システムや予約システムの導入など、実用化に向けた取り組みを進めています。

2022年9月と2023年3月には、川崎市麻生区・横浜市青葉区において自動運転モビリティを遠隔監視により運行管理する実証実験を実施し、多摩田園都市エリアをはじめとした郊外住宅地での自動運転車両を活用した移動サービスの展開に向けて検証を進めました。

2024年5月には、同業他社と会社間の垣根を越え、1人の遠隔監視者が異なるエリアで走行する2社2台の自動運転バスを運行管理する実証実験を行いました。

2025年5月には、東京都世田谷区の内ヶ原駅付近において、市販車を自動運転用にEV化し、自動運転機能を付加した「自動運転小型EVバス」の走行試験を実施しました。自動運転システムの調整・整備を運行事業者にて可能とし、バス事業として持続可能な事業モデルを検証しました。

2025年10月には、日本屈指の交通量の地域である渋谷駅周辺エリアでの自動運転小型EVバスを運行管理する実証実験を行いました。

＜関連リリース＞

- ・自動運転小型EVバスを使用した渋谷駅周辺エリアにおける走行実験を実施します

[d352981d9b8121be4dfa8f76ca7fd54eb5fc4030.pdf \(tokyubus.co.jp\)](https://www.tokyubus.co.jp/d352981d9b8121be4dfa8f76ca7fd54eb5fc4030.pdf)